

2018年8月9日 第2338回例会
8月第2例会

RIテーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
「インスピレーションになろう」

本年度会長テーマ
「奉仕の理想に向かって、楽しむロータリーに」

「会員増強・新クラブ結成推進月間」「平和月間」

◆ 会長時間 ◆

森脇会長



6日は73年目の広島原爆記念日。鎮魂と祈りの1日でした。そして、本日9日は長崎原爆記念日です。

広島に原爆が投下された時、「70年は草木も生えない」と

いわれましたが、現在、広島は「国際平和文化都市」として復興再建されました。しかし、広島の悲願である核兵器廃絶への道は険しいものがあります。

先日、広島平和記念公園の原爆死没者慰霊碑に参拝しました。慰霊碑のまわりの池には日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、中国語、ロシア語、ハンガール語の8か国語の説明板があります。水の中から文字が浮かび上がるようにデザインされています。

これは2008年に、国際ロータリー第2710地区が広島市に寄贈したものです。諏訪ガバナーの時のもので、広島西ロータリークラブが深く関わっています。新会員はじめ、ご存知ない方は一度慰霊碑に参拝され、ご覧になってみてください。

● 会務報告

小橋幹事

※次週例会は休会となっておりますので、お間違えの無いようお願いいたします。メイクアップの必要はありません。

※例会終了後、4階「カメラ」において松田ガバナー補佐をお迎えしての第2回クラブ協議会を開催いたしますので、理事役員及び各委員長は出席願います。

☒ グループ7 松田文雄ガバナー補佐ご挨拶



● 委員会報告

✳ プログラム・出席委員会

出席報告 村上君

本日 (8月9日・木曜日)
 会員数 84名 出席者 72名
 欠席者 12名 ご来客 0名
 ご来賓 2名 ゲスト 0名
 計 74名
 前々回 (7月26日・木曜日)
 出席率 100%



✳ 会報雑誌・広報委員会

江川副委員長

ロータリーの友誌紹介

● 会員記念日

祝 連続出席100% (4名)

中村君 (28年) 川西君 (28年)
 上田君 (18年) 村上(健)君 (2年)

● スマイルボックス

SAA 坂田君

☺ RI第2710地区 グループ7 ガバナー補佐 松田文雄氏 (自主申告・ダブル)

本日のクラブ協議会、どうぞ宜しくお願いいたします。

🗣️ 田島君（自主申告・大枚）

広島アルミニウム工業は、新しいダイカスト工場棟を建設いたします。新工場は延べ床面積3万7530平方メートルで来年8月の完成予定です。

それと同時に、北広島町に100人収容できる独身寮と120人収容可能なベトナム人実習生向けの社宅を建設いたします。

建設資金は広島銀行様を主体に巨額の借入をしてまいります。もともと広島では有数の借金会社ですが、ますます借金が増えてまいります。ただただ、金利が上がらないことを祈るのみです。

🗣️ 松岡(輝)君（自主申告・トリプル）

先月、観音の社屋にできた“ツバメの巣”から、無事4羽のこどもたちが巣立ちました。うちの社屋からツバメが巣立つのはこれで2度目です。“ツバメが巣作りするところは繁栄する”の格言を信じ切っている昨今です。巣立った子ツバメの元気な成長と、来年無事に戻ってきてくれることを祈りつつ出宝いたします。

■ 卓 話



広島から核兵器のない世界へ

広島市市民局 国際平和推進部
平和推進課 課長補佐

野 坂 正 紀 氏

【要旨】

今回の卓話では、「平和」に焦点を当て、現在の核兵器を巡る国際社会の情勢等にも触れながら、広島市が核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け取り組んでいる平和施策の方向性、具体的な事例などについてお話しします。

まず、核兵器を巡る国際社会の情勢として、世界には未だ1万4千発を超える核兵器が存在しています。NPT（核不拡散条約）という国際的な枠組みがあるにも拘らず、核兵器を持つ国は増え、核軍縮についても、長年に渡り大きな進展がない状況が続いています。

そうした中、昨年7月に核兵器禁止条約が122

か国の賛同を得て採択されました。この条約の特徴として、核兵器の開発、実験、使用、使用の威嚇などの活動をいかなる場合にも禁止していること等が挙げられます。この条約に署名・批准する国は少しずつ増えていますが、核兵器に依存する国は、依然として反対の姿勢を崩していません。今後、核保有国を含む全ての国が条約に加盟し、十分な法的実効性を持つものになるよう私たち市民社会は為政者が勇気を持って行動することができる環境作りを推進していかなければなりません。

そのため、本市では、被爆の実相を「守り、広め、伝える」をキーワードに、被爆者の体験や平和の思いを共有する取組を行っています。

一つ目の被爆の実相を「守る」ための取組として、被爆の実相を伝え、広めていくために欠くことができない重要な存在である被爆建物や被爆樹木の保存事業等を進めています。

二つ目の被爆の実相を「広める」ための取組として、「迎える平和」の推進に力を入れています。被爆の実相を広めるためには、核保有国の為政者を始め、より多くの人々に広島に来てもらい、被爆者の体験や平和への思いを共有し、核兵器廃絶に向けた取組を進めていただくことが重要であることから、国際会議の誘致や為政者等の被爆地訪問に取り組んでいます。

また、1982年に設立され、本市が会長都市を務める平和首長会議は、現在、世界163か国・地域の7,600を超える都市が加盟しており、国連、平和NGO等とも連携しながら、都市レベル、市民レベルでの核兵器廃絶に向けた気運の醸成と活動の拡大を図っています。

そして三つ目の被爆の実相を「伝える」事業として、平和宣言や被爆体験伝承者養成事業、平和祈念資料館の再整備等にも取り組んでいます。

皆様には、広島市の平和への取組を御理解いただき、「核兵器のない世界」の実現に向けて、共に行動していただくことを願っています。

● 卓話予告

日時	テ	マ
8/30(木)	会員組織部門担当	強調プログラム

広島西RC

検索

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 森脇 宗彦
幹 事 小橋 敏幸

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会